

国立科学博物館 植物研究部研究部

GBIF 日本ノードマネージャー

細矢 剛

GBIF ワークショップ (通算第 8 回) 「外来種・移入種と生物多様性情報」

日時 2013年12月14日(土) 13:00~16:00

場所 国立科学博物館 上野本館 日本館講堂 (2F)

#### ワークショップの趣旨

地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) は、全生物の多様性情報を集積して公開する機関です。集積している情報の中には生物の分布情報があり、さまざまな利用 (分布の把握、分布予測、気候変動の影響など) に供されています。GBIF の日本ノードである JBIF は、GBIF と生物多様性情報のプレゼンスを高めるため、毎年、生物多様性情報を利用した活動や利用法についてのワークショップを開催しています。本年は、「移入種・(侵略的) 外来種」に関わる問題を取り上げます。

期待される参加者 研究者・一般

#### プログラム

13:00~13:15	開会あいさつ・GBIF ご紹介	国立科学博物館	細矢 剛
13:15~13:55	外来生物の分布拡大予報：現状と将来展望	横浜国立大学	小池文人
13:55~14:35	外来生物と分布情報システムとの親和性：滋賀県での取り組みを例に	滋賀県立琵琶湖博物館	中井 克樹
14:35~15:00	休憩		
15:00~15:40	アジアからの (?) 侵略的外来種：トネリコ立ち枯れ病に学ぶこと	国立科学博物館	細矢 剛
15:40~16:20	遺伝子情報から追う外来生物分布拡大の足跡	国立環境研究所	五箇 公一
16:20~16:55	総合討論		
16:55~17:00	閉会あいさつ	東京大学	伊藤 元己